

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で25年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

4月定例会

平成24年4月12日(木)午後6:30より、ソリッドスクエア1F第1会議室にて、会員14名、見学者1名の参加を得て開催した。

和光大学経済経営学部 岩間剛一教授を招き、「元気が出るエネルギー対策～危機を乗り越える工夫～」をテーマに、講演はすすめられた。

世界と日本のエネルギー方策について、日本の経済・財政状況をふまえながら、LPガス・シェールガス・LNGなどへの利用転換の方向と可能性が述べられた。

参加者は、今後の安定的かつ廉価なエネルギーについて、改めて考えさせられる機会となった。

その後、場所を移して懇親会を行い、終始和やかな雰囲気ですべてを深めた。



4月分科会

平成24年4月4日(水)午後6:30~7:45、ミューザ川崎シンフォニーホール第3会議室にて、会員13名、見学者2名、学生3名の参加を得て開催した。

川崎信用金庫 木村秀文地域連携部長を招き、「最近の地域経済動向について」をテーマに、講演はすすめられた。

例年のとおり、地域経済に関するデータ分析など、東日本大震災後の経済の現状と今後の展望などについてわかりやすい説明であった。

消費マインドはやや上昇傾向にあるものの、消費税増税、電力不足、少子高齢化など山積する諸問題により、経営者の将来展望はかなり厳しい状況であることがわかった。

相変わらず厳しい状況に変わりはないが、環境、高齢者対策、防災などは今後も発展が望める分野であり、ビジネスチャンスを探りながら情報を収集していくべきであると思った。

また、オプションとして、5月21日の金環食をはじめ、天体に関する夢のある話題の提供があった。

特に、宇宙が誕生したのは今から137億年前で、この歴史を1年に例えると人間の誕生は12月31日の大みそかであり、人間と宇宙との関わりは僅かなものであること、そしてその人間が一瞬にして地球環境を破壊してしまっていることに注目し、地球規模・宇宙規模で環境対策に取り組む必要性の示唆に感銘を受けた。

多様かつ俯瞰的な視点を持つことの重要性を再認識した。(副会長 小林猛久氏の報告書より抜粋)



加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191